

再現! 江差の五月は江戸にもない ～ “いにしえ街道” の景観を生かすまちづくり～

北海道檜山郡江差町

江差町歴まち商店街協同組合

1 社会資本の概要

江差町は、北前船交易により北海道の中でも古くから開けた港町のひとつと言われています。北前船の往来を背景とした、檜材とニシン取引に関連した問屋、蔵、商家、町屋、それに社寺などの歴史的建造物や史跡、旧跡が数多く残されています。

特に資源が数多く集積している「中歌町、姥神町」の旧国道沿い地区（通称いにしえ街道）は、北海道より歴史を生かすまちづくり事業のモデル地区として選定され、歴史的、文化的遺産を生かした街

※江差の歴まち事業の大きな特色は、全国で行われている「保存型や統一感を持った街並み」と異なり、『多年代多様式』の街並みづくりであり、変化に富みながらも統一感をもった街並みを形成しています。

並み景観を創りながら、歴史的景観形成建物の保全・整備のみならず、町民の生活環境の質的・精神的・経済的向上に寄与しています。



平成16年度に完成した『いにしえ街道』1.1kmの街並み。
案内板・電線地中化・下水道・公園整備を行いました。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

江差町歴まち商店街協同組合は、歴史や文化・人材などの地域資源を『守り』・『育て』・『創る』をテーマとし、北前船がやってくる江差の原風景、「江差の五月は江戸にもない」という賑わいを再現することを目的に様々な活動を展開しています。

これにより、歴史を見直す地域の意識も高まり、街道沿の店主や住人が、先祖から伝わる話を自分たちの言葉で語り継ぐ『百人の語り部』を実施してい

ます。ご高齢の「語り部」たちもいきいきしており、語り部の居場所を記した『語り部マップ』も観光客や総合学習で訪れる学生に好評を得ています。また、いにしえ街道の資産である歴史的建造物の保存・活用に向け、「土蔵」の再利用や熟練した技術をもった職人を呼び込み、「北前の文化と職人の技」で地域を活性化するための活動を進めています。

江差に伝わる伝統や文化、歴史を継承していくためにも『長く続ける秘訣は無理せず、身の丈で楽しくやること』を大事にしています。



街道沿いの店主や住民が、『百人の語り部』を実施しています。



歴まち街の魅力と語り部の居場所を記した「語り部マップ」。



いにしえ街道に点在する土蔵を学芸員の解説付きで巡るウォーキングイベント。

3 地域への成果や波及効果等

いにしえ街道開通後は、「歴史を生かすまちづくり」の先進地視察が数多く訪れるようになり、地元小学生などによる「写生会」や、近隣市町中学校からの自主研修の受入により、歴史・文化や地域の景観に対する総合学習の場として活用されるようになりました。また、各種イベントを活用した商店街活性化事業には、商店街の店主、住民も参加協力しており、江差町の「顔」として商店街が認知されるようになりました。

総合学習の場として、地元小学校も活用。屋号や家印の由来の学習に活用も。



壺番蔵の館内の様子。
今年で第4回目となる【江差・北前のひな語り】の拠点会場。



●受賞者

江差町歴まち商店街協同組合
理事長 室谷 元男

●コメント

栄えある賞をいただき本当に驚いております。私たちの小さな活動も早四半世紀。北前船が運んだ人や文化を大切に、地域の人たちと楽しく暮らし、訪れる人たちとの交流が深まればと続けて来ました。手づくりでぬくもりある郷土を、次世代にもつなげてゆこうと思っています。

●活動内容

百人の語り部、土蔵群の再生、
オリジナル商品販売 など

●活動の経緯

平成8年	活動団体法人化
平成14年	拠点施設【壺番蔵】 指定管理者
平成16年	街路事業完成

所在地

北海道檜山郡江差町 中歌、姥神町一帯の旧国道沿い地区

活動主体及び連絡先

江差町歴まち商店街協同組合 (0139-52-0531)
HP: <http://esashi.sakura.ne.jp/rekimachiHP/info/top>
FB: <https://ja-jp.facebook.com/rekimachi>
※功労者名: 小林 英嗣 (北海道大学名誉教授)
澁澤 寿一 (NPO 法人「共存の森ネットワーク」理事長)

対象となる社会資本

いにしえ街道 (町道姥神・中歌線と街並み)
※管理者: 江差町



江差町歴まち商店街